

組織の本能と現代

Instinct of Organization and the Present Day

大藤 茂 [1]; 柳井 修一 [2]; 丸山 茂徳 [3]

Shigeru Otoh[1]; Shuichi Yanai[2]; Shigenori Maruyama[3]

[1] 富山大・理・地球科学; [2] 株) ジオ・コミュニケーションズ; [3] 東工大・理・地惑

[1] Dept. Earth Sci., Fac. Sci., Univ. Toyama; [2] J-Geo.com; [3] Earth and Planetary Sci., Tokyo Institute of Technology

< 目的 >

現代はマスコミ帝国主義の時代、民主主義的手法の氾濫、地球温暖化原因説と政治、経済、教育。科学者共同体の見解をマスコミが主導し、政治を牛耳り、新しい狂乱の世界への先導役となっている。何故そのようなことが起きるのか？ 第二次世界大戦へと導いた世論を喚起するようなマスコミの問題は日本を世界の最前線から再び暗闇の世界へと埋没させる元凶にさえ見える。何故？

< 手法 >

堺屋太一の組織論の紹介。その理論を応用する。組織の死に至る病。機能体が共同体化する（構成員の幸せを追求する為のもの）。組織が確立し構成員が固定化すると、組織の作られた目的とは別に構成員の幸せを追求するような本能的な欲求が組織の中に生まれる。組織が共同体化すると具体的に何が起きるか？ 1) 我々は選ばれた高等遊民と考える阿呆がでてくる、2) 相互不干渉、3) 官僚化、4) 権力化、5) 安定志向、その結果、相互批判を忘れる、成功体験への埋没（説明必要）、環境への過剰な適応（専門分野への再分化に埋没）、個性（地域地質）を対象にした科学に埋没、組織が共同体化すると外部からの介入を極度に嫌う、共同体化すると信長型人間（能力100%人格%）が嫌われ、光源氏型人間（能力0%人格100%）が好まれる。チェックポイント（年功人事、情報の内部秘匿、組織の内部を見せない、総花主義、集中の不能、悪平等、不適材不適所の人事、組織の目的達成能力を損なう、私の話に怒り出す）